

第74回卒業証書授与式（見崎中最後の卒業式）

3月11日（火）、令和6年度第74回卒業証書授与式を行いました。見崎中学校最後の卒業式に、2年生も6年ぶりに参加し、来賓（地域の方々等）にもご臨席いただき、卒業生の門出を祝っていただきました。

「フェスティナ レンテ（ゆっくり 急げ）」という言葉、式の中で卒業生に伝えました。どうぞ「あせらず、たゆまず、おこたらず」の歩みを忘れずに、幸せな人生を送って行って下さい。



【卒業生代表答辞（※抜粋）】

冷たい風の中にも柔らかな日差しが降り注ぎ春の訪れを感じられる季節となりました。本日は私たちのために、心あたたまる式を挙げていただきありがとうございます。また先生方をはじめ、保護者の皆様、来賓の皆様にもご臨席を賜り、卒業生32名を代表し、厚く御礼申し上げます。・・・

そして、3年生のみんな。32名で過ごした3年間は、どこを切り取っても青々としていて、思い返すだけで胸が熱くなるような、輝きに満ちた時間でした。小学校から、あるいは保育園から一緒だった仲間もいましたが、入学当初の私たちは、決して本当の意味で仲がよいとは言えなかったと思います。そこに新たな仲間も加わり、これでもかというくらいぶつかり、一緒に叱られ、褒められ、共に汗や涙を流して、やっと本当の絆を手に入れることが出来ました。こんなにも誰もが心穏やかで、喜びや悲しみを共有出来て、一人ひとりを大切にするクラスは、どこにもありません。・・・

最後に、本日、この場にいらっしゃるすべての皆様。私たちの3年間は、毎日が色濃く簡単なあらずじにはまとめられないほどに、輝かしいものでした。今日という良き日を胸に、未来に向けて大きく羽ばたいていくことを誓い、別れの言葉とさせていただきます。最高の3年間でありがとうございました。

令和7年3月11日 卒業生代表

【閉校記念植樹・記念碑設置】※卒業式当日、閉校記念植樹・記念碑設置も行われました。



「学びの転換」進んでいます！

今年度、より「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、定期考査を廃止し、単元（知識・技能・総合）テストや実技テストを効果的に実施しました。
（※詳しくは、You Tube「定期テストを廃止 福岡県八女市の見崎中学校 生徒の理解度確認がしやすく教員の時間外勤務も削減」で動画がアップされています。）

この取組は、本校の課題である「主体的な学習や、自分で計画立てた自宅学習が不十分である。」を克服するための取組です。

結果、1, 2年生の実力テストの変化は、以下の表のようになりました。

【5教科合計点の県平均との比較】

	R6年4月実力テスト	R7年2月実力テスト	増減率
1年生	91.3%	106.0%	+14.7%
2年生	98.9%	108.4%	+9.5%

この結果だけで判断するならば、「定期考査を廃止し、単元（知識・技能・総合）テストや実技テストを効果的に実施」したことは、子どもたちの学力向上に有効な手だてであったと言えます。

子どもたちは、定期考査と比較して狭い学習範囲の単元テストに向けて、計画的に自宅学習を行うようになりました。結果として、家庭学習の時間が増加しました。また、タブレットの持ち帰りによる、eラーニングの充実も家庭学習の時間の増加に寄与しています。

本校の生徒は、塾に通っている割合が、全国平均の約半分です。結果として、何か手だてを講じなければ、学校以外で学習する時間が、全国と比較してどうしても少なくなります。

上記の結果より、今年度の「定期考査を廃止し、単元（知識・技能・総合）テストや実技テストを効果的に実施」の取組が、学力向上の有効な手だてであったと、学校では判断し、来年度も継続して行っています。

保護者の皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

校訓「自主創造」「着実勤勉」「融和協同」

【みさき学園の校訓】

4月に開校する、義務教育学校「八女市立みさき学園」でも、「自主創造」「着実勤勉」「融和協同」の校訓は引き継がれていきます。

この校訓について、見崎中学校の前身、忠見・川崎中学校の校長であった下川虎雄先生が、後の記念誌に以下のような寄稿をされています。

「我が見崎中学校の生徒は派手でなくともよい、楠の様に年々、一寸一寸着実に新芽を創造して、亭々たる大木に成長してもらいたい。これが校訓制定当時の願いでした。」

見崎中学校、忠見小学校、川崎小学校、合わせて320名の児童生徒が、74年間引き継がれてきた校訓を、さらに後輩たちに大事に引き継いでいくことを願っています。

融和協同
着実勤勉
自主創造
校訓